

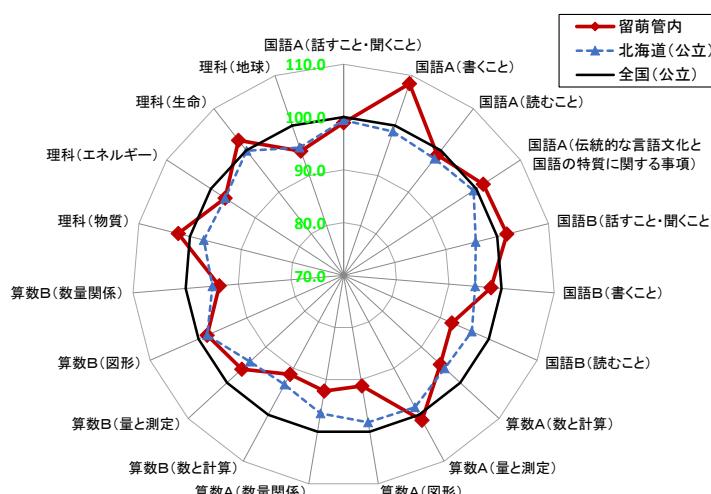
■小学校の状況(学校数:15校、児童数:295人)

【平均正答率】

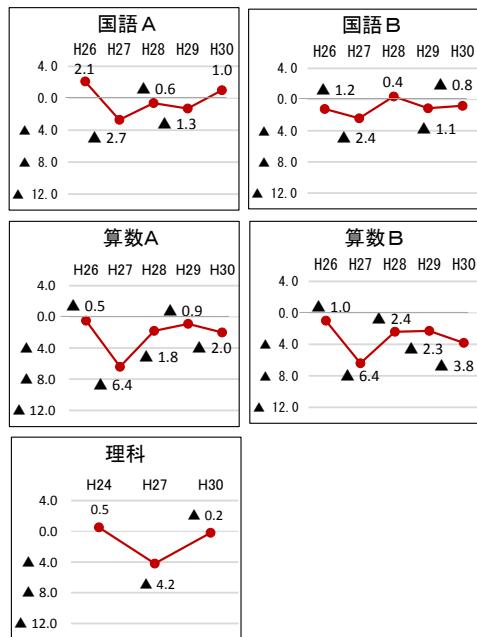
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
留萌	72[71.7]	54[53.9]	62[61.5]	48[47.7]	60[60.1]
全国	71[70.7]	55[54.7]	64[63.5]	52[51.5]	60[60.3]

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの
(全道及び管内の平均正答率 ÷ 全国(公立)の平均正答率 × 100で算出)



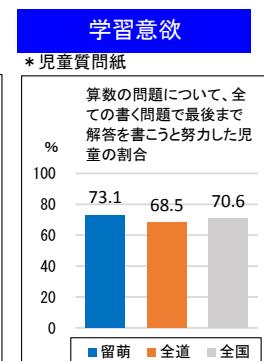
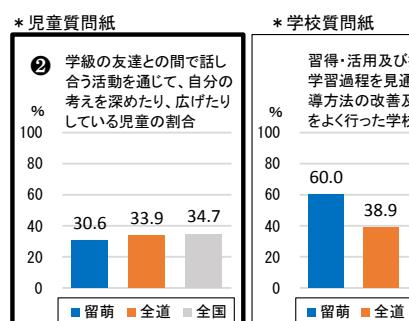
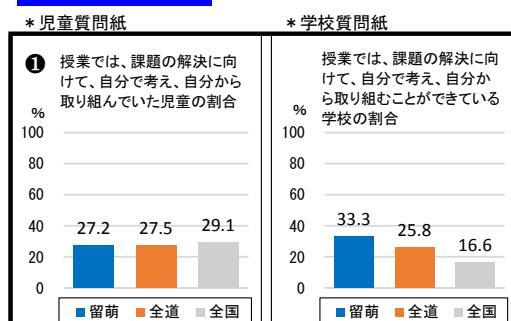
【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)



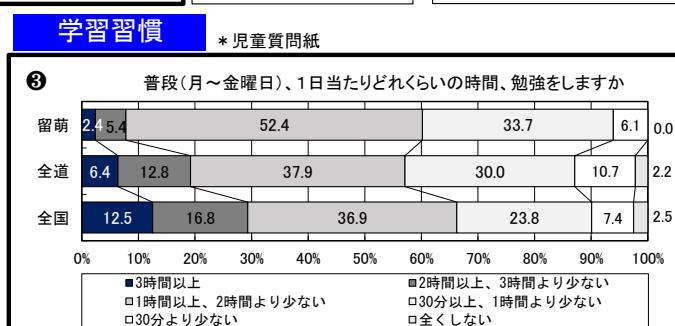
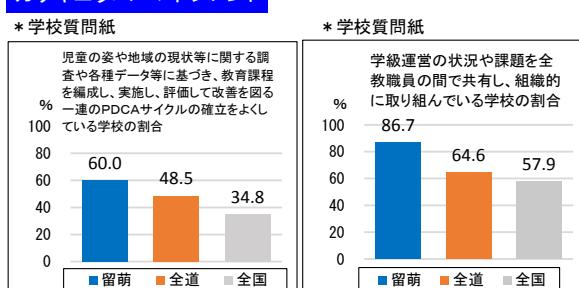
*「管内の平均正答率 - 全国(公立)の平均正答率」の経年変化

【質問紙の状況】

指導方法



カリキュラム・マネジメント



【分析及び改善の方向性】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国と比較し、国語Aの「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bの「話すこと・聞くこと」、算数Aの「量と測定」、理科の「物質」「生命」で上回っている。 ○ 全国と比較し、算数Bの全ての領域で下回っている。特に、国語Bの「読むこと」、算数Aの「図形」、理科の「地球」で差が大きいことから、指導計画及び指導方法の工夫改善に取り組む必要がある。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ① 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている学校の割合は33.3%であり、全国を上回っているが、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた児童の割合は27.2%であり、全国を下回っていることから、単元を見通して、見通しを立てたり、振り返ったりして、学びや変容を自覚できる場面などを一層充実する必要がある。 ② 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている児童の割合は30.6%であり、全国を下回っていることから、児童同士の協働、教職員や地域の人との対話等を通じ、自己の考えを広げ深める対話的な学びを一層充実する必要がある。 ③ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している児童の割合は60.2%であり、全国を下回っていることから、保護者と連携した家庭学習の習慣の確立に向けた取組を進める必要がある。

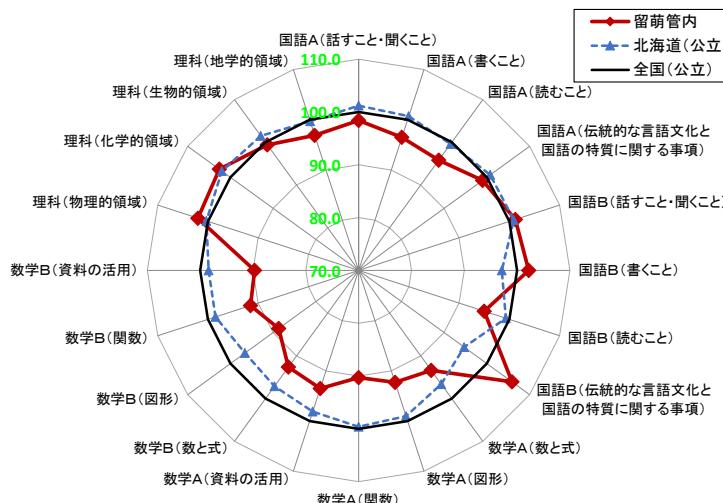
■中学校の状況(学校数:11校、生徒数:334人)

【平均正答率】

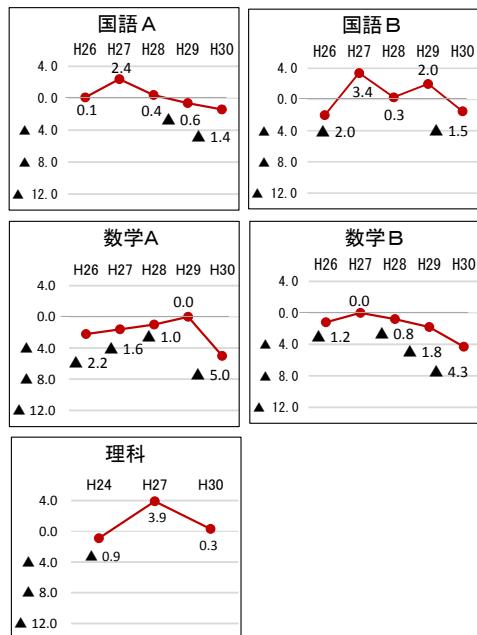
	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
留萌	75[74.7]	60[59.7]	61[61.1]	43[42.6]	66[66.4]
全国	76[76.1]	61[61.2]	66[66.1]	47[46.9]	66[66.1]

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの
(全道及び管内の平均正答率 ÷ 全国(公立)の平均正答率 × 100で算出)



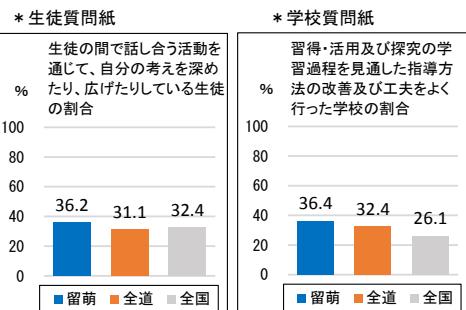
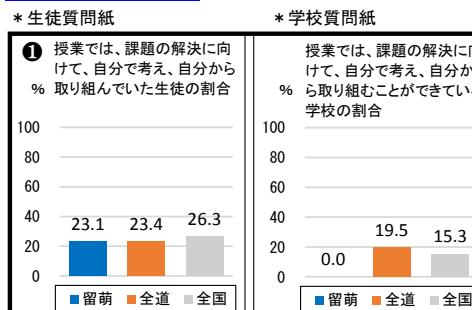
【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)



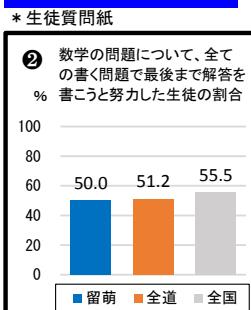
※「管内の平均正答率 - 全国(公立)の平均正答率」の経年変化

【質問紙の状況】

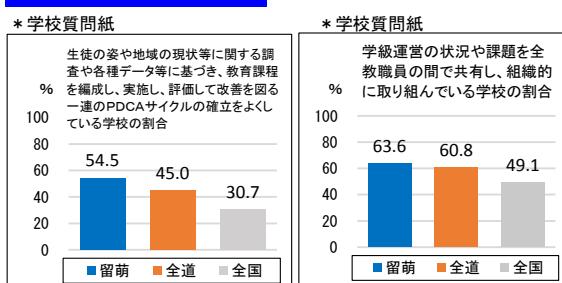
指導方法



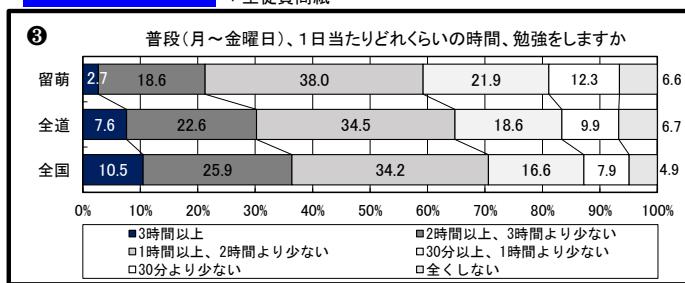
学習意欲



カリキュラム・マネジメント



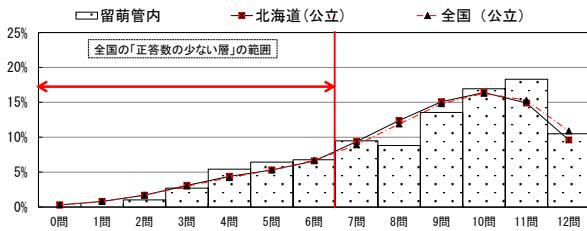
学習習慣



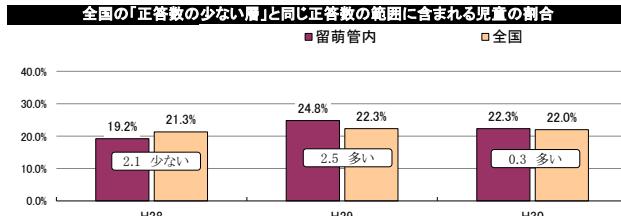
【分析及び改善の方向性】

教科	○ 全国と比較し、国語Bの「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、理科の「物理的領域」「化学的領域」で上回っている。
	○ 全国と比較し、国語A、数学A・Bの全ての領域で下回っている。特に、国語Bの「読むこと」、数学Bの「图形」、理科の「地学の領域」で差が大きいことから、指導計画及び指導方法の工夫改善に取り組む必要がある。
質問紙	① 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた生徒の割合は23.1%、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができる学校の割合は0.0%であり、いずれも全国を下回っていることから、単元を見通し、見通しを立てたり、振り返ったりして、学びや変容を自覚できる場面などを設定する必要がある。
	② 数学の問題について、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した生徒の割合は50.0%で、全国を下回っていることから、学ぶことに興味や関心をもち、見通しをもって粘り強く取り組み、振り返って次につなげる主体的な学びを一層充実する必要がある。
	③ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している生徒の割合は59.3%であり、全国を下回っていることから、家庭での学習方法について具体例を挙げながら教えるなど、家庭学習の習慣の確立に向けた取組を進める必要がある。

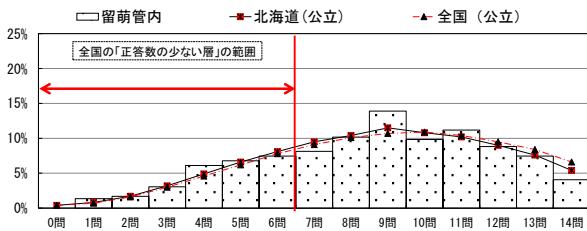
小学校国語A						
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差	
留萌管内	295	8.6 / 12	71.7	9.0	2.6	
北海道（公立）	39,610	8.4 / 12	70.1	9.0	2.6	
全国（公立）	1,030,025	8.5 / 12	70.7	9.0	2.7	



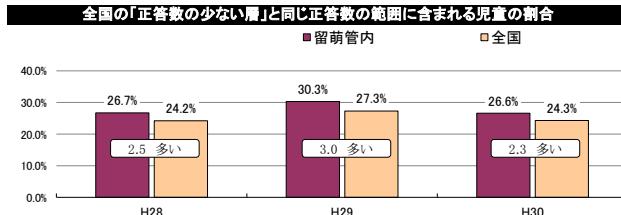
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



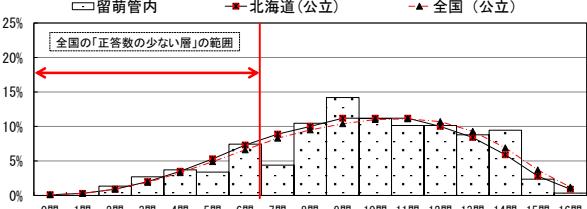
小学校算数A						
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差	
留萌管内	295	8.6 / 14	61.5	9.0	3.1	
北海道（公立）	39,610	8.7 / 14	62.2	9.0	3.2	
全国（公立）	1,030,013	8.9 / 14	63.5	9.0	3.2	



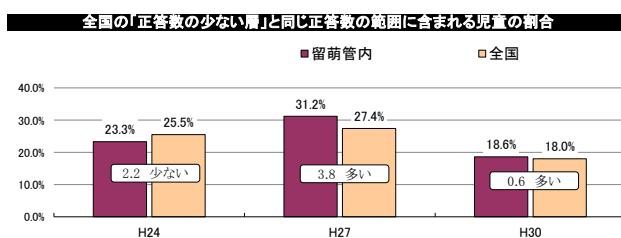
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



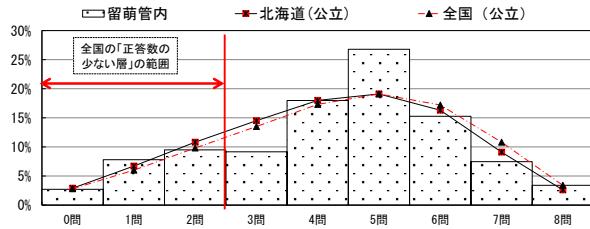
小学校理科						
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差	
留萌管内	296	9.6 / 16	60.1	10.0	3.1	
北海道（公立）	39,617	9.4 / 16	58.8	10.0	3.1	
全国（公立）	1,029,828	9.6 / 16	60.3	10.0	3.2	



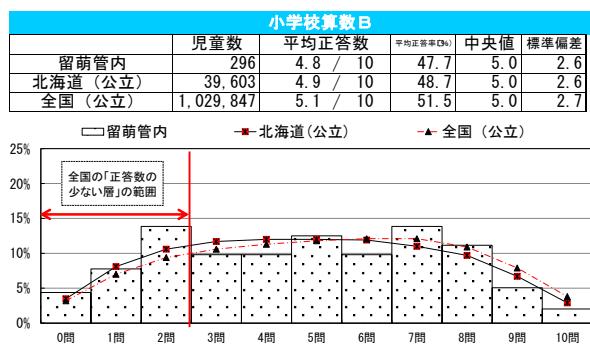
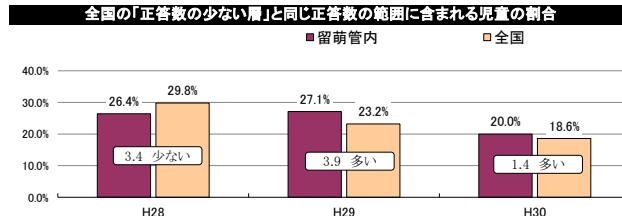
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



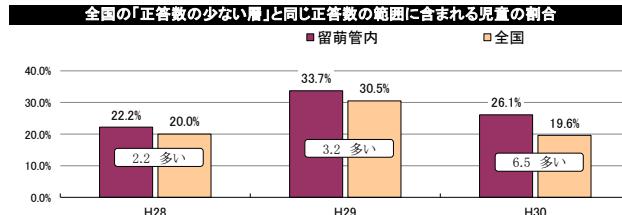
小学校国語B						
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差	
留萌管内	295	4.3 / 8	53.9	5.0	1.9	
北海道（公立）	39,599	4.2 / 8	52.7	4.0	1.9	
全国（公立）	1,029,799	4.4 / 8	54.7	5.0	1.9	



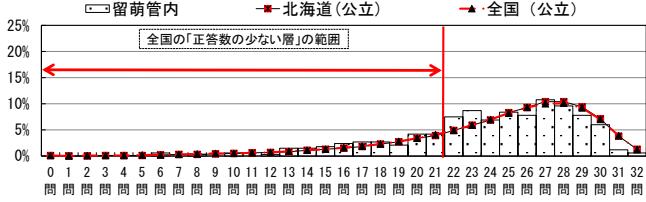
●全国の「正答数の少ない層」は、2問以下の正答数



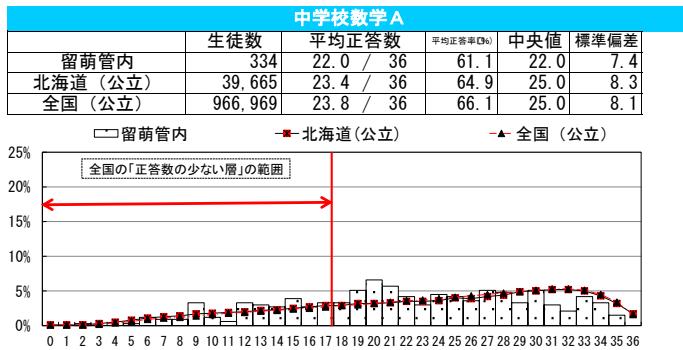
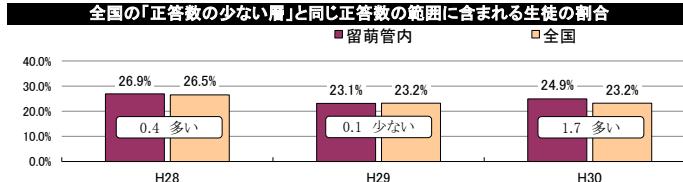
●全国の「正答数の少ない層」は、2問以下の正答数



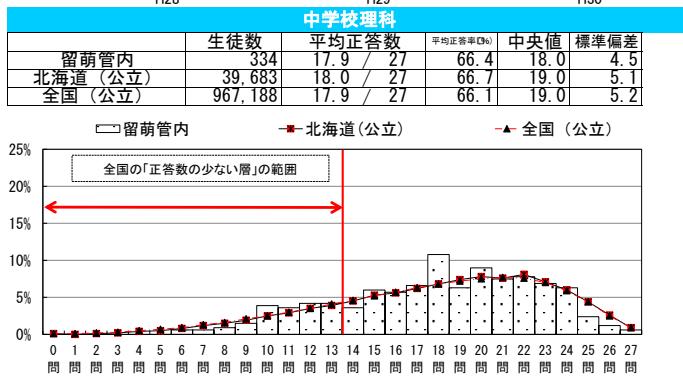
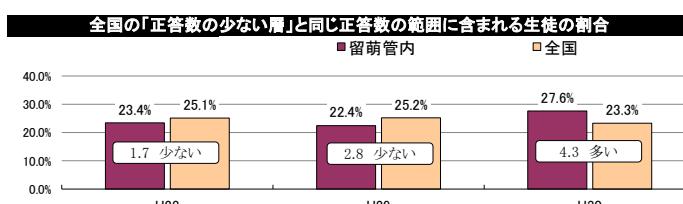
中学校国語 A					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
留萌管内	334	23.9 / 32	74.7	25.0	4.8
北海道（公立）	39,656	24.5 / 32	76.6	26.0	5.1
全国（公立）	966,764	24.3 / 32	76.1	26.0	5.3



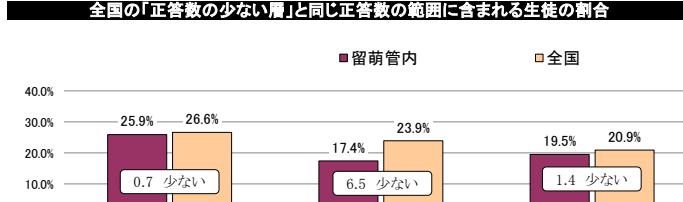
●全国の「正答数の少ない層」は、21問以下の正答数



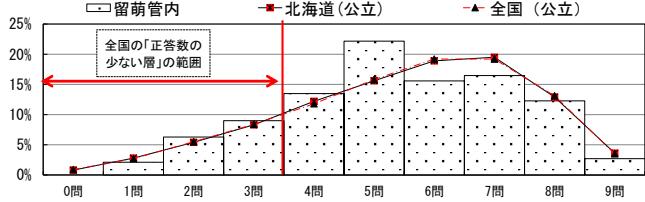
●全国の「正答数の少ない層」は、17問以下の正答数



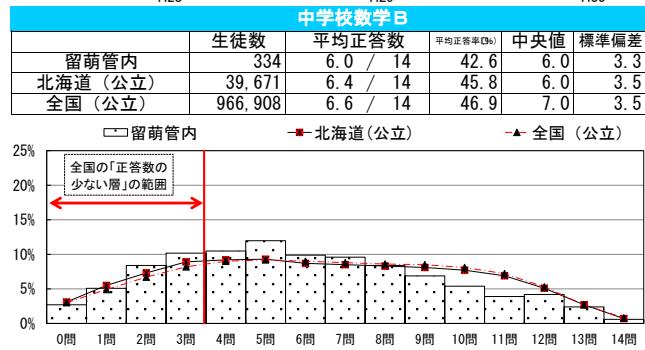
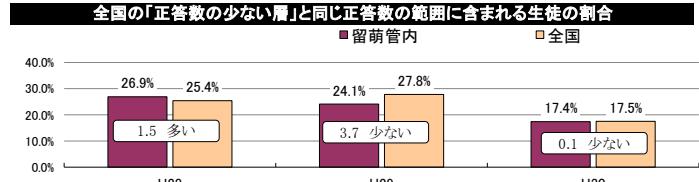
●全国の「正答数の少ない層」は、13問以下の正答数



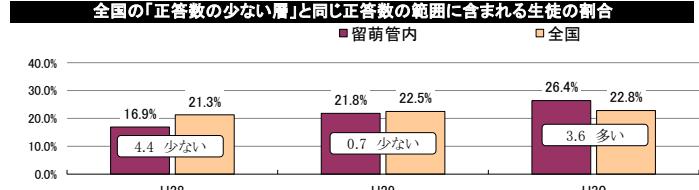
中学校国語 B					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
留萌管内	334	5.4 / 9	59.7	5.0	1.9
北海道（公立）	39,654	5.5 / 9	61.2	6.0	2.0
全国（公立）	966,786	5.5 / 9	61.2	6.0	2.0



●全国の「正答数の少ない層」は、3問以下の正答数



●全国の「正答数の少ない層」は、3問以下の正答数



【参考】【平成27年度（小学校）】全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童の割合

小学校国語 A	
留萌管内	全国
35.3%	29.4%
全国との差	5.9多い

H30中3	1.7多い
-------	-------

小学校算数 A	
留萌管内	全国
32.5%	21.7%
全国との差	10.8多い

H30中3	4.3多い
-------	-------

小学校理科	
留萌管内	全国
31.2%	27.4%
全国との差	3.8多い

H30中3	1.4少ない
-------	--------